

第17回醇風ふれあいまつり特集



まちづくり協議会だより

(愛称：醇風四十一通信) 第二十二号

【発行】
醇風地区まちづくり協議会
事務局：醇風地区公民館

出合いが輪を、思いやりが和を、

参加が環をつくる

—— つながる力で広がるまちの輪・和・環 ——
色づく秋のまちなかで、今年も醇風ふれあいまつりが開催されました。今年は、地域の傘踊り連である「じゅんぷう連」の中高生さんがボランティアとして、また城北高校ボランティアの生徒さんたち、さらに鹿野街道を盛り上げようと活動している鹿野街道五十市（しかのかいどうごういち）の皆さんがイベントに参加。これまでのメンバーに若い力が加わったことで、まつり全体がより活気に溢れました。
人がつながると、まちが動き出します。これからも醇風まちづくり協議会は、世代や構成団体の垣根を越えた「つながり」を育みながら、誰もが安心して暮らせるまちをめざしていきます。

つながるまちづくり

ボランティア参加してくれた「じゅんぷう連」の中高生さん、城北高校の生徒さんからは、「このまつりに初めて参加したけれど、とても楽しかった。」「参加して知り合いが増えた。」との声も聞かれ、まさに「ふれあいまつりが目指す」つながるまちづくりの思いが形になりました。
地域全体でつくり上げるまつりは醇風の豊かな風を感じさせてくれます。

誰もが安心して暮らせるまちをめざして

十一月一日から三日までは公民館で行われている講座の受講生さんと地域で創作活動に親しんでいる方による作品展も開催されました。

世代を超えて人と人が交わり、学び、ふれあいの場を共有することで、地域の温かさを実感する催しとなりました。

また、近くの高齢者施設利用者の方も共同作品を出品され、職員さんとともに鑑賞に来館されました。
笑顔と笑い声に包まれた会場には「また来年もここで会いましょう」という思いが自然に生まれていました。



鹿野街道五十市（ごとういち）

今回、鹿野街道五十市の皆さんは焼きそばを販売してくださいました。

名前の由来は、かつて鹿野街道が隆盛を誇っていた頃、五と十のつく日に市場が開かれていたことにちなんだそうです。

当時のにぎわいを鹿野街道に復活させようという熱い思いを胸に秘めて市街地を中心に活動されています。

心和む、城北高校茶道部のお点前

顧問の先生の丁寧なご指導の下、城北高校茶道部の皆さんが心和む抹茶のひとときを届けてくださいました。先生と生徒さんに敬意と感謝を込めてお礼申し上げます。



シニアの健康とくらしの保健室

公民館2階を会場としたシニアの健康とくらしの保健室では、保健所保健師、鳥取西地域包括支援センターの保健師・社会福祉士、社会福祉協議会の地域支えあい推進員が連携し、健康測定の結果をもとに一人ひとりの健康やくらしの相談に応じました。

学校に保健室があるように、地域にも気軽に立ち寄れて、疲れた時にホッとできる“地域の保健室”があってもいいのではないかと、そんな思いから今回初めてブースを設けました。

公民館は、シニアに限らずだれもが安心して相談でき、最適な支援機関につなげることができる場所でもありたいという願いを持っています。

